

10月21日
11月20日

交通ルールを守る県民運動

10月21日～11月20日

「私は交通ルールを守ります」 県民運動を展開



秋の交通安全期間中の9月29日人丸・油谷警部派出所前で運転者にコーヒーのサービスをする町の職員。

安全で住み良い郷土づくり、これは、みんなの願いです。山口県内で今年も、この数年に比べて、多くの交通事故が起きています。その原因を調べてみますと、結局は、運転者、歩行者それぞれが、基本的な交通のルールを守っていないところにあるようです。

運転者の皆さんへ

スピードの出しすぎ、飲酒運転、わき見運転などは重大事故につながります。山口県では、一〇月一日からスピード違反車の取締りを強化しており、一〇月一〇日までの間に、三、〇〇〇件の違反車が取締りの対象となりました。少し早目の出発、安全運転こそ、事故

を無くする基本的なマナーではないでしょうか。

歩行者の皆さんへ

時速六〇kmで約一七m、時速四〇kmで約一m。これが一秒間の車の速さです。道路を横断するの

に、何秒くらいかゝるでしょうか。普通に歩いて、一秒間に約一mです。無理な横断が、どれほど危険な行為か、車の速さを認識しておきたいもの。

秋の全国火災 予防運動

11月26日～12月2日

十一月から三月にかけての冬場は、空気が乾燥しやすく、石油ストーブなどの暖房器具を使うことから、一年のうちで最も火事が多い季節です。

今年も、恒例の秋季全国火災予防運動が実施されます。この運動は火災多発期を迎えるにあたり、国民一人ひとりの防火意識の向上をはかり、火災発生防止と人命損傷事故の絶滅を期することを目的として行われます。

暖房器具を正しく使おう

- ▼ 朝夕めっきり寒くなってきました。これから使用されるあなたのうちの暖房器具は安全ですか。
- ▼ 暖房器具は取り扱い説明書をよく読み、正しく取り扱う。
- ▼ 使用する前には必ず整備点検をする。
- ▼ 石油ストーブは対震自動消火装置のついたものを使用する。
- ▼ ストーブはふすまやカーテンなどの燃えやすいもののそばで使用しない。
- ▼ 出入口や通路では使用しない。
- ▼ 石油ストーブは火をつけたまま持ち運んだり、給油しない。
- ▼ ガスストーブはゴムホースのき裂等がないかよく確かめて使用する。

お年寄りだけを残して外出することはできるだけ避ける、幼児やお年寄りの安全な避難方法を考えるといった日頃の心がまえが必要だ。しかし、家族が一緒であっても、幼児やお年寄りが逃げ遅れて、火災の犠牲になってしまうケースは多いのです。

- ▼ 犠牲者をなくすためにも、火災を未然に防止することは絶対に必要です。
- ▼ 外出するときは、おやすみ前には完全に消火を確かめる。

火災による焼死者の約半数はヤケドによるものですが、酸素の欠乏、一酸化炭素中毒、新建材などの有毒ガスの恐ろしさも忘れてはなりません。

また、五歳未満の幼児と六〇歳以上のお年寄り、焼死者の約半数を占めています。そこで幼児や

